

監査報告書

2024年5月28日

社会福祉法人 手稲ロータス会
理事長 宮川 学 殿

監事 加賀 三千博



監事 原子 茂樹



私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3 その他の意見

介護事故総件数は、2022年度と比較すると238件（行政報告25件、事故110件、ヒヤリハット103件）増加していることを踏まえ、介護事故の削減に向け職員の質の向上に努めると共に、2023年度の退職者は職員総数の約15%であることから、職員あつての法人ですので、魅力ある職場作りと職員の定着により以上、力を入れていただきたい。

監事監査報告書

2024年度 第2回 監事監査の結果について次のとおり報告いたします。

監事 加賀 三千博



監事 原子 茂樹



監査日時	2024年9月11日(水) 9:30~11:30
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室
監査実施内容	① 2024年度 第1四半期までの収支状況 ② 監査・実地指導及び事故・苦情の報告(2024年4月~2024年6月)
監査結果	① 収支状況については月次報告書で精査した。 2024年度 第1四半期までの資金収支差額は前年同月と比較すると全事業所合計で12,838千円増額しており、特に特養手稲、老健手稲が増収となっている。 月次報告書の財務書類は、正確に作成されている。 ② 2024年度 第1四半期までにおける行政に報告した事故は、法人全体で34件、苦情は3件であった。前年同月と比較すると事故は10件増加しているが苦情は7件減少している。誤薬事故は全体の44%を占めており、発生傾向は類似している。 事故、苦情の対応は適切になされている。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none">札幌市による運営指導の際にあった指摘事項は、速やかに改善されたことを確認した。今後の経営方針や確認のためにも役員(評議員含む)向けの研修等を行い親睦を図れる機会を検討頂きたい。各事業所の運営規程に「ハラスメント防止」に係わる条文を記載して頂きたい。また、ハラスメント防止に係わる研修も実施して頂きたい。

監査結果報告書

2024年度 第3回 監事監査の結果について次のとおり報告いたします。

監事 加賀 三千博



監事 原子 茂樹



監査日時	2024年11月15日(金) 14:00~15:30
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室
監査実施内容	(1) 2024年度 上半期の収支状況について
	(2) 監査・実地指導及び事故・苦情の報告(2024年7月~2024年9月)について
	(3) 2024年度 上半期の事業実施状況について
監査結果	(1) 通所、訪問等のサービスは前年比、利用が減少している事業所が一部あるが、入所系サービスでは全事業所で前年比、入所率が増加しており介護保険事業収入は大きく増加し、法人全体で過去最高の1,161,059,414円であった。 当期資金収支差額は42,419,128円で前年比33,500,135円増加し収支は良好である。 月次報告書は每期、正確に作成されている。
	(2) 行政による監査・実施指導の実施はなかった。 7月~9月の行政への事故報告件数は、27件で前年比11件増加している。 事故の内容、傾向は変わらず、削減に向け引き続き対策が求められる。 苦情は5件で10件減少した。事故、苦情とも対応は適切になされている。
	(3) 事業計画の重点推進課題は、各事業所において対応され成果が出ている。 研修は各事業所で計画通り実施されている。また、施設外の研修も積極的に参加されており、職員のスキルアップ、人材育成への取組が認められる。
その他の意見	(1) 事業収入が堅調に推移し、上半期の収支状況は近年において良好である。 下期においても引き続き入所率の維持・向上と経費の削減に努め、中期経営計画(前期)の財務目標を是非達成して頂きたい。 (2) 事業計画においては、事業計画評価表の「今後の取組予定」に記載されていることを実行して更に成果を出して頂きたい。

監査結果報告書

2024年度 第4回 監事監査の結果について次のとおり報告いたします。

監事 加賀 三千博



監事 原子 茂樹



監査日時	2025年3月13日(木) 9:30~11:00
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室
監査実施内容	(1) 2024年度 第三四半期までの収支状況 (2) 監査・実地指導及び事故・苦情の報告(2024年10月~2024年12月)
監査結果	<p>(1) 法人全体の事業活動収入は1,770,592,195円、前年比79,536,035円増収している。特に老健音更は前年比39,894,301円増と大きく伸びている。</p> <p>一方で法人全体の事業活動支出は1,702,275,764円と前年比51,142,251円増加している。事業活動収入の増収によって資金収支差額は前年比28,393,784円増加しており収支は良好である。</p> <p>昨今の物価高騰もあるが、経費の抑制も実施していただきたい。</p> <p>一方、在宅手稲の通所、訪問等のサービスは利用者減少により2022年度から継続的に減収が続いている。</p> <p>月次報告書は每期、正確に作成されている。</p> <p>(2) 介護保険施設等に関する行政による実地指導が昨年10月、特養音更において行われたが、指摘事項はなかった。</p> <p>10月から12月の行政への事故報告件数は、35件で前年比5件増加している。苦情は1件で7件の減少。事故、苦情とも事後対応は適切になされている。</p>
監査結果意見	<p>(1) 在宅手稲の減収については、年度毎に対応は施されたと思われるが、改めて対策を講ずるべく検討を行っていただきたい。</p> <p>(2) 4月から12月までの行政への事故報告件数は前年比29件増加している。(今年度99件、前年度70件) 誤薬32.3%、転倒・転落23.2%の割合が依然と高い状況にある。ヒューマンエラーが多く、第三四半期においても、もう少し注意・確認することにより未然に防げる事故が見受けられる。改めて組織横断的に削減への取組と基礎体力を強化していただきたい。</p>